

⇒ 杉並少年ラグビースクール 初心者向けのラグビー教室

ラグビーワールドカップ (RWC) 2019日本大会の開幕から8日後の11月10日、杉並少年ラグビースクールが井草森公園運動場で初心者向けのラグビー教室(杉並区後援)を開いた。半年前の参加者は66人だったが、この日は4.4倍の292人にふくれ上がった。

この教室は未就学児、小学生、中学生を対象に、日本協会が開催を呼びかけた全国一斉ラグビー体験会の一環として行われた。W杯開幕後は20人を超える週もあり、手応えは感じていたが、区の広報紙にお知らせが掲載された今回の教室は、事前申し込みだけで261人、当日飛び込み参加も加えれば300人を越える可能性があった。今まで経験したことがない状況に、練習グリッド数を半年前の12から20に増やし、中学部の生徒やコーチ、さらには自分の子がすでに卒業して何年も経っているOBコーチにも協力をお願いした。受付で長蛇の列ができないよう、受付スペースも拡張した。

メニューのネーミングも、「にわかファン」層の興味を引くよう、日本代表の躍進に敬意を表して「田村キック」「One Team ポールリレー」「フェラーリ松島」「ジャッカル姫野」など工夫した。入念な準備のおかげで、当日は滞りなく幼児137人、低学年103人、中学年44人、高学年8人に、楯田球の魅力を伝えることができた。

上記のようなことは杉並少年RSに限った話ではなく、都内に25ある

スクールはすべて同じ状況だったと聞いている。

11月3、4日に開催された「2019年度東京都秋季ミニラグビー交流大会」には、NHKとTBSが「ラグビーブーム」の取材に訪れた。またW杯後には狛江ラグビースクール設立が東京都協会で承認された。

杉並少年RSの生徒数は、8月末の時点で幼児から中学生まで127人だったが、今年1月19日現在で過去最多の173人まで増えている(36%増)。特に幼児は20人の増加となった。

一方で、新たな課題も出てきた。競技人口の急増に見合う①練習場所の確保と②コーチングレベルの向上が、今後全スクール共通の克服すべきテーマとなる。今回増えた幼児・小学生は、日本ラグビー界の次世代を担うW杯のレガシー(遺産)であり、大切に育てていきたいと考えている。(東京都ラグビースクール校長会議事務局 早川健人)



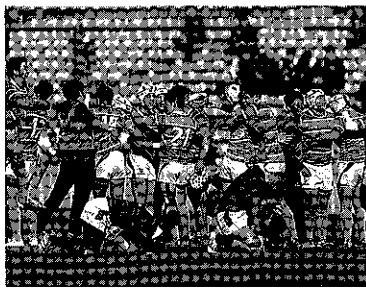
体験会の様子

⇒ 第99回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会 東京都予選

＜早稲田大学系属早稲田実業学校高等部●0-22○東京高等学校＞

ボールをワイドに動かして前進を試みる早稲田実業高校(早実)に対し、東京高校(東京)の出足の速いタックルが刺さり、早実が後退する場面が試合を通して数多く見られた。東京は12分に、相手ゴール前に上げたキックをWTB熊田主将がキャッチし先制トライ。前半終了間際にもFB杉本がキックを押さえてトライを重ねる。

後半立ち上がり、早実も東京の攻撃をよくしのいでいたが、8分に東京がボールを細かくつなぎ、CTB野田がトライ。その後も東京の堅守に対し早実はなかなか前進できず、焦りもあって反則を多発。東京は風も利用した試合運びで完封し、花園への切符を手にした。



東京都第1地区決勝
早実-東京

＜本郷高等学校○24-21●國學院大学久我山高等学校＞

体格で上回る國學院久我山高校(久我山)がFW戦を挑んだのに対し、本郷高校(本郷)はFW、BKバランスのいい攻撃で相手の隙を突く展開となった。前半5分、本郷はBKに展開しCTB岡本主将が先制トライを挙げる。12分にも連続攻撃からWTB清水が抜け出しトライ。一方の久我山はFWのサイド攻撃で前半終了間際にNO8山口がトライを返し、12-7と差を詰めて折り返した。

後半も先に取ったのは本郷。4分、自陣からの左展開で清水がこの日2つ目のトライを挙げる。これを含め本郷は後半2つのトライ(もう1本は後半23分PR吉村)を奪取。対する久我山も15分にPR本間、28分にはSO永山がトライし3点差に迫ったが、ロスタイムの猛攻を本郷がしのぎきり、2年連続の花園出場を決めた。(東京都協会広報委員長・勝岡陽一)



東京都第2地区決勝
本郷-久我山

⇒ 関東大学入替戦

関東大学対抗戦(A・B)および関東大学リーグ戦(1部・2部)の入替戦が、それぞれ12月17日(土)と18日(日)に熊谷ラグビー場で行われた。

【関東大学対抗戦】

- ・青山学院大(A7位) ○54-33 ●明治学院大(B2位)
- ・成蹊大(A8位) ●21-23 ○立教大(B1位)

1試合目は、得点力に一目の長がある青山学院が明治学院の挑戦を退け、A残留を果たした。2試合目は、関係者の間で“定期戦”ともい

われる5年連続の成蹊大と立教大の対戦。15年の入替戦で敗れBに降格して以来、成蹊に4連敗中だった立教が鬱憤を晴らし、5季振りのA昇格を決めた。



成蹊-立教戦